



記事内容は執筆者個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

# スクールソーシャルワーカーだより 20

こと ほりかわしげとし

horikawassw@gmail.com

## ☆ 小さな決断 の巻 ☆≡

ほりジイの好きな番組の一つ、NHK/E テレビ0655。わずか五分間の番組ですが、一日の出発が『明るく楽しく元気よく』なれます。結構、同じショートストーリーが繰り返されます。

登場するのはナイツなどの芸人さん。今日紹介するのは、又吉さんが家を出て分れ道を選びながら、その道で遭遇する出来事を面白く紹介しつつ、一日が小さな「決断」の連続だと伝えています。

☆

日常の中で、それがどんなに小さな選択でも「自分で決められた」「自分のことは自分で決めることができる」、すなわち自分をコントロールする経験を持つことが大切です。

厳しく育てられた、真面目な子どもさんは、「こうでなければいけない」「～であるべき」といった、白黒はっきりした考え方を持っているようです。

そうすると何事に対しても「自分一人の力で取り組むか、相手に完全に頼るしかない」、そんな極端な考え方になりやすいようです。その結果、とても生きづらい人生を送る子どもさんもいるのです。

日常の小さな決断をする時、「自分でもやれるけれど、たまには人の力も借りてみよう」など、グレーゾーンの考え方を持てると、楽になるかも知れません。そのような発想が出来る子にするためには、まずあなた

これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍である(1969.7.20)

が、「その甘えは子どもの成長に大きな影響はない」と、小さな決断をされることで、将来の困り感を防げるかも知れませんね。

真面目な子ほど、自分の弱みを見せるのには、勇気が必要です。日頃の小さな決断で、いざと言う時の勇気が育つと考えられます。

どうか、「ダメなものはダメ！」と子どもに言う勇気を持ってください。子どもさんはその程度の事で、あなたの事が嫌いにはなりませんから。

★

ドラえもんは、のび太君にとって大切な友人です。子どもにとってはスマホも、ゲームもドラえもんです。

あなたにしてみればスマホが、子どもの時間を奪う、悪い友だちに見える事があるかも知れません。それでも、リアルな友だちが好ましくない時、「あの子と遊んではダメ！」と言うと、逆効果になるのとまったく同じです。リアルな人間関係と同じく、「距離を置きなさい」＝スマホは「〇時〇分になったら、(おとな)に預けなさい」と諭すのが、より良いしつけになるでしょう。

